

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの固定化があまりなく、子どもたちが楽しく事業所に通っています。	日々の振り返りで保護者の方と情報共有しながら必要な支援を考へて固定化しないようにしています。 その日のこどもの様子も見て臨機応変にプログラム変更などを行っています。	引き続き日々の子どもたちの様子や情報を更新しながら、保護者や利用者のニーズを含めてプログラムを作成していき楽しく通っていただける事業所にしていきたいです。
2	保護者の方との話す機会が多く、日々情報を共有し合い相談しやすい環境ができています。	毎時間振り返りの時間があるため、支援の振り返りはもちろん近況報告や悩み事相談を聞き支援に繋げている。 時間が足りないときは別途面談時間を設け、しっかりお話しを聞けるようにしています。	今後も保護者の方との話す時間を確保し、保護者や利用者の意見や学校などの色々な機関も巻き込めるようにしていきたいです。
3	子どもたちの特性を理解して支援や計画を立てています。	保護者の方との話す時間確保し、アセスメントをとっているため指導員の理解度も増し、支援や計画に活かしています。 研修などで色々な事例の検討や他校舎の方々との交流などをし、知識なども増やしながより良い支援に繋げていけるようにしています。	会社内だけでなく、支援の時間などの合間を見つけて今よりも外部も含め研修機会に参加していけるようにし、特性理解や計画の立て方など通っていただける子どもたちのためにつながる取り組みを続けていけるようにしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの周知が十分できていないです。	説明はあるものの1度きりの場合がほとんどで覚えられていない場合が多いです。	イベントなど保護者が集まる機会を作り、周知できるようにしていきたいです。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供がありません。	保護者からのニーズがあまりなく、また事業所の中でまだ情報や知識が少なく、実施出来ていない状況です。	・研修の機会を増していきたいです。 ・イベント等で情報提供や研修会ができるようにしていきたいです。
3	地域の方や地元の小学生を含めたイベントや交流が行えていません。	ニーズが無いため行っていません。	今後ニーズがあった際に、別校舎での開催事例や情報を共有しすぐに行動できるようにしていきたいです。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」阪急茨木校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 年月日

回収数 46

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	7		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	39	3		4		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	7		3	隣りを分けるパーテーションが少し圧迫を感じることがあります。	気持ちよく利用していただけるように毎時間パーテーションの位置など確認しながら環境設定していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42	3	1		待つところの床がいつも髪の毛が多くになります。	随時、清掃に努めさせていただき気持ちよく利用していただけるように努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	42	4			子供のその時の状況を踏まえながらメニューを工夫して頂きありがたいです。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42	1		3		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	45	1			特性を十分理解いただいたうえで計画を作成くださっています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39	2		5	まだよくわかりません。	具体的な設定をしていることは個別支援計画の説明の時にさせていただいていますが、理解していただけるように努めていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	46					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	6		3	子供に合わせて支援をしていただいています。	子供によっては固定化したプログラムにするなど1人ひとりに合わせて工夫しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	5	16	20	ないような気がします。	現在計画は立てていませんが、今後利用者の方で必要になった際、検討させていただきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	1			契約時に説明頂いています。	契約時に意識して説明させていただいています。今後も意識していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	46					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	6	4	9	あまり知らないです。	公式LINEなどでお伝えさせていただいているが、その他の方法でも定期的にお伝えし、行えるようにしていきたいです。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	43	3			いつも本当にお世話になっています。母が心折れるときも何度も助けて頂きました。	ありがとうございます。今後もご相談いただけるように取り組ませていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	4		1	振り返りの時間で色々なことを相談させていただいています。	短い時間になってしまっているときもあるかとは思いますが、今後も是非とも相談してください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	3		1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	7	5	20	保護者同士の交流の場を作っていたおかげで色々な方と情報交換ができるようになりました。	兄弟支援の場はまだ設けていないので必要であれば検討していきたい。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	41	4		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	46					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	5	1	10	自分が発信されているか確認する余裕がないためわからない。	事業所の待合のところに掲示をさせていただいています。こちらからも認識していただけるように振り返り時などにお伝えしていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	3		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	8	1	10	最初の説明でマニュアルはあると聞いたことはあるが訓練されていることは知らないです。	年間で何度か子供達や保護者にも防災訓練などで参加していただいているが、多くの方に周知していただけるように努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	7	2	17	あまり知らないです。	防災訓練などで利用者の方も参加する形で行っていきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	6		8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	5		14	実際そのような場面に遭遇したことがありません。	事故等あった場合、該当される方には個人で対応させていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44	2			打ち解けて親に話していないことも相談している様子です。	引き続き子どもたちに安心して通ってもらえるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	41	5			いつも楽しく通わせてもらっています。ありがとうございます。	引き続き子供達や保護者にも楽しく、信頼して通ってもらえるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	44	2			先生によって差が激しいときがあります。	子供の様子や調子など共有しながらどの先生でも満足していただける支援ができるように尽力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校			公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		集団が必要な場合はパーテーションを取り大きなスペースを作ることができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	基本的には適切であるが、欠勤など職員が不足すると「子供を見る目」や「来客対応」に足りなさを感じる時があります。	従業員の配置について上長や会社全体で考えていく必要があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		必要な子への配慮はMTGなどで共有意識しています。	特性をとらえきれていない場面もあるため改めて情報共有を職員全員で行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個室の方が落ち着いて支援時間を過ごせる子に提供しています。	個室が1つしかないため同じような子が並んで利用することが難しい時があります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		MTGで随時行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		MTGで随時行っています。 1on1などで話しやすい環境作りも行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		社内研修や外部の研修に参加し、資質を高める機会を設けている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		保護者からの要望や振り返り時に提示している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		子供のその日の体調や調子を見て、支援内容の変更やアセスメントを行うなど臨機応変に対応しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		基本的には個別で取り組んでいるが、必要な時や共有事項があるときは、MTGなどで報告し合いチームで行えています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		保護者の話や子供の様子を見ながら変更しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的に個別活動がほとんどだが、同じ時間帯で必要とする子が集まった場合、集団活動をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		周りの職員に支援内容やこどもの様子を共有して次の支援に繋げることができている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		周りの職員に支援内容や子供の様子を共有して次の支援に繋げることができています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録漏れが無いよう注意しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者の要望があった場合など必要な方に行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校訪問などする機会が昨年度に比べて増えました。各機関との関わりを昨年度よりも多くなりました。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			該当する方がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			他の子供と活動する機会を作れていません。ニーズがあればイベント等でやりたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			市役所などからのメール、周りの仲良い事業所からの情報共有ですれば参加していきたいです。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		児発管や指導員、保護者や関係機関に変化などの共有を行っています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		公式LINEや本社の取り組んでいる大学との研究機会への参加の呼びかけをしています。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		必要に応じて全体で把握していただけるように丁寧に説明させていただいています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		振り返り等でお話を聞き、必要であれば別途時間を設けて面談を行わせていただいています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		少してはあるがイベント等で保護者が集まる機会を作るように努めています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		公式LINEなどを通じて情報を発信させていただいています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域との関わりは積極的に行っていません。関係機関に事業所のリーフレットなどを配り周知させていただいています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		作成し、定期的に周知し、避難訓練などを行うなどを行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）に則って研修を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		新規間い合わせ時や利用者に何か変化などあればMTGなどで適宜情報共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		必要な子にはイベントにてお菓子を配る際、アレルギー確認などを適宜行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		教室の備品などの配置等の改善に取り組んでいます。職員全体で話し合いをして決めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社全体や事業所内で研修を受ける機会を設けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		会社全体や事業所内で研修を受ける機会を設けています。		